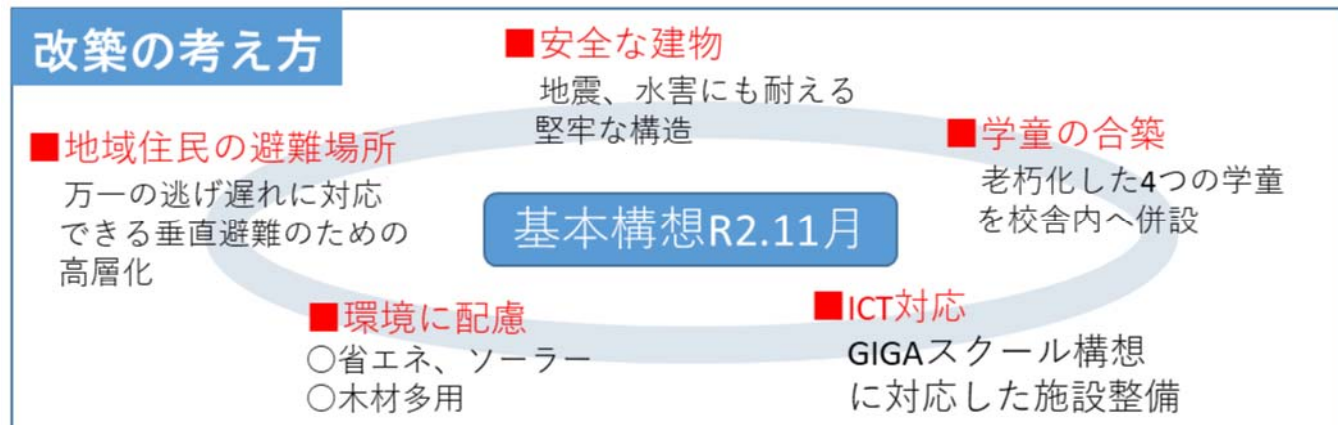


鶴岡市立朝陽第五小学校改築に向けた基本構想について（要約版）

○設計コンセプト



○校舎設計について

- 校舎は、木のぬくもりや周辺住宅地への圧迫感の少ないデザインで検討
- 校舎棟2階の床仕上げ高さを浸水想定高さ以上で計画（校舎棟一部3階想定）
- ICT環境については、GIGAスクール構想に準じた無線LAN等の環境整備を計画
- プールについては、視線防止対策を含めて配置を検討
- 道路から校舎及び校舎内部のバリアフリー対応を計画（段差解消等）
- 校舎棟内に多目的トイレの設置を計画
- 屋内運動場は1棟で、現在の大体育館（616㎡）、小体育館（300㎡）を合計した面積以上で計画（1,200㎡）
- 五学区学童保育施設（4施設）を校舎棟に併設

○避難所機能について（浸水を除いた地震災害時等）

- 屋内運動場（以下：体育館）には、防災物品収納庫の設置を計画
- 体育館への動線もバリアフリー対応で計画
- 冬季時の避難所開設時の体育館床面底冷え対策として、ジェットヒーター等の温風を床下面に送風し、底冷えが緩和できる設備を計画（災害時のみ利用機能）
- 太陽光発電設備等により、地震停電時に職員室や体育館の照明やコンセントの一部が使用できる電気回路を構築し、災害時における電力供給を検討
- 自家発電設備を設置する場合は、燃料補給（軽油想定）動線や、浸水被害を受けない位置で計画
- トイレ流し水を雨水利用で計画

○五小改築事業スケジュール（予定）

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
設計	基本構想	←→					
	プロポーサル	←→					
	基本・実施設計	←→					
工事		校舎・屋体改築工事					
			建物廻り外構工事				
				旧校舎解体工事			
				グラウンド・プール整備工事			
					外構工事		

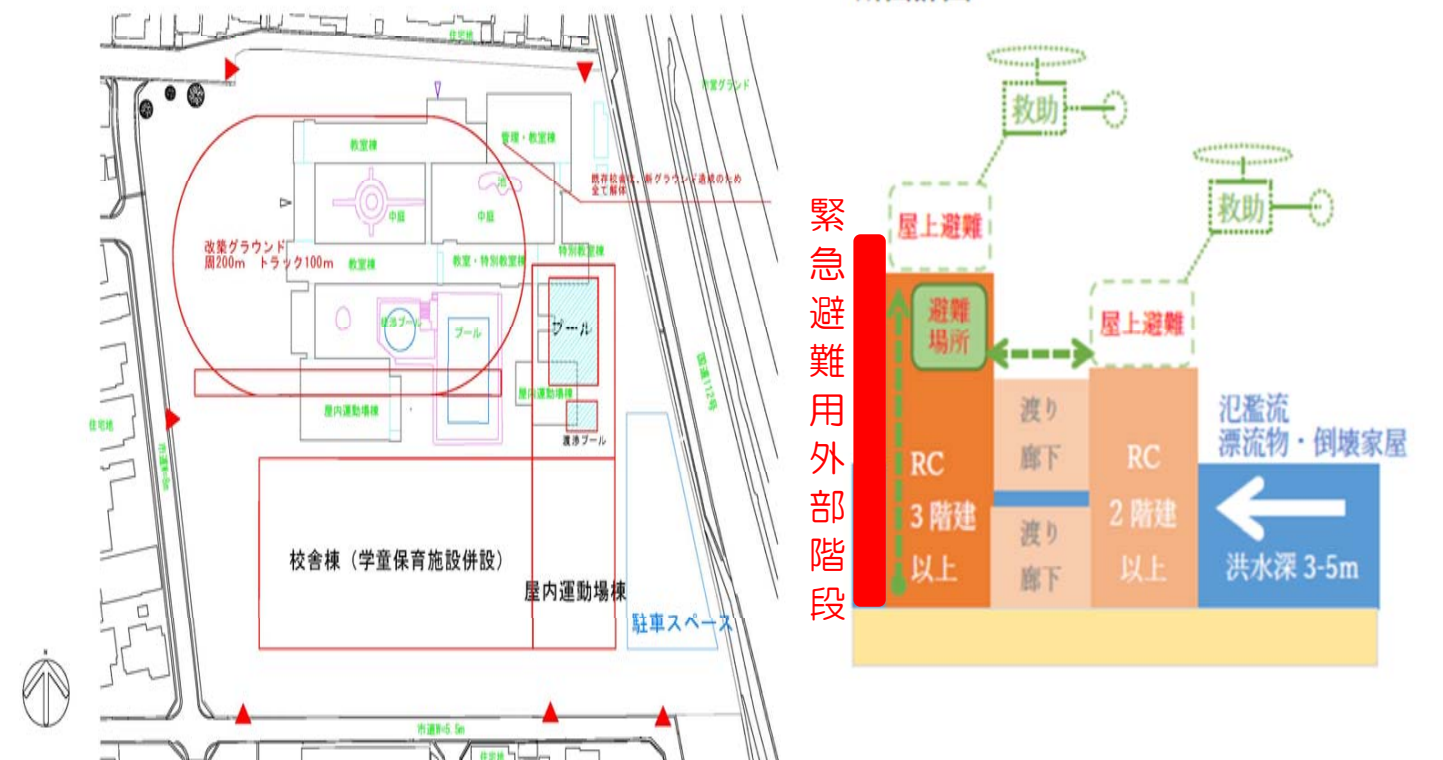
○浸水時における緊急避難場所対応

- 校舎棟には緊急避難用外部階段を設置し、逃げ遅れた住民の方が校舎棟（2階、3階、屋上階）に避難できるよう計画
- 校舎棟の2階、3階の緊急避難用外部階段から入れる室は、多目的ホール等を配置し、緊急的な避難場所として提供できるよう室配置を計画
- 校舎棟屋上階は手摺を設置し、転落に対する安全対策を計画
- 体育館同様に多目的ホールの照明やコンセントの一部も太陽光発電等からの電力供給回路構築を検討
- 浸水時を想定し、電気室は2階以上への配置を計画

○一般開放対応について

- 体育館には男女別トイレおよびバリアフリー対応として多目的トイレを計画
- 体育館には開放利用用玄関を設置し、周辺に開放利用用駐車場の整備を計画
- グラウンドへの照明設備について1基あたり水銀灯1KW相当換算4灯を4基計画
- グラウンドに設置する倉庫には、小学校用、防災物品収納、開放団体用を1棟内に扉を分けて設置を検討

朝陽第五小学校 改築配置計画参考イメージ図



○今後について

基本設計・実施設計の事業者をプロポーサル方式で選定後、基本構想に基づいて基本設計を行い、実施設計に入る前に期成同盟会へ説明会を実施予定（令和3年6月から7月頃）